



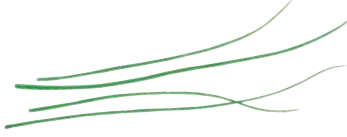














第98期 中間期事業のご報告

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

エスビー食品株式会社

Star Anise 	Marjoram 	Rosemary 	Dill 	Ciboulette 	
Shiso 		Cardamon 	Italian Parsley 	Chili Pepper 	Sweet Basil 
Clove 	Chamomile 	Cinnamon 	Black Pepper 	Saffron 	

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととおよこび申しあげます。

平素は格別のご支援ご愛顧を賜わり、誠にありがたく厚く御礼申しあげます。

ここに当社第98期中間期(当第2四半期連結累計期間：平成22年4月1日～平成22年9月30日)の事業の概況と決算のご報告を申しあげます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長引くデフレ環境のもと急激な円高の進行や株価下落を受け、徐々に景気の持ち直しの動きに弱さが見られるようになり、予断を許さない状況となりました。

食品業界におきましては、夏場の猛暑により一部に個人消費への好影響がありましたものの、お客様の節約志向を背景とした市場環境の厳しさが依然として続きました。

このような状況のなかで、当社および連結子会社(以下「当社グループ」といいます。)は、企業理念「真の顧客満足の追求」のもと、お客様の視点に立って、当社グループの強みでありますスパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいりました。「お客様の声」を製品の研究開発や改良・改善に活かしますとともに、安全・安心でお客様の要望する価値ある製品をお届けいたしますため、生産履歴に関する情報システムの充実や生産現場での作業品質の向上を進めるなど、安全・安心を支える体制の一層の強化と生産性の向上に努めてまいりました。また、より多くのお客様にもっとスパイスとハーブをお使いいただけるようスパイス&ハーブに関するキャンペーンやプロモーション活動を通じて、メニュー

目次

株主の皆様へ	1
事業別概況	3
トピックス	5
業績の推移(連結)	7
財務諸表(連結)	8
会社情報	10

提案や使い方提案を積極的に発信してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比12億98百万円増の640億85百万円(前年同期比102.1%)となりました。営業利益は前年同期比5億13百万円増の31億2百万円(前年同期比119.8%)、経常利益は前年同期比3億84百万円増の25億60百万円(前年同期比117.7%)となりましたが、四半期純利益は投資有価証券評価損13億36百万円を計上いたしましたことなどから、前年同期比5億66百万円減の6億73百万円(前年同期比54.3%)となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、前期に比べ1円増配の1株につき7円(年間配当金は14円を予定)とさせていただきます。

通期の見通しにつきましては、政策効果の減退とともに世界的な経済の先行き不安や円高進行による競争力低下などを背景に輸出産業を中心とした企業業績の下振れ懸念などから、景気の停滞が予想されます。

食品業界におきましては、個人消費の回復が期待しにくい状況のなかで、依然として価格競争が継続するものと推測され、そしてお客様の要望に応えられる価値ある製品の開発が安全・安心対策とともに一段と求められるものと思われれます。

当社グループといたしましては、このような情勢のもと、企業理念「真の顧客満足の追求」の具現化に向けて、引き続きお客様の視点に立ち、当社グループの強みでありますスパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいります。

また、内食化傾向が続くなか、お客様のニーズも多様化し、新たな提案への期待も高まっており、今までの経験や教訓を活かし、スパイス&ハーブや香辛調味料などを通じて、お客様のニーズや期待にお応えできるよう、引き続き商品提案やメニュー提案などの情報発信に努めてまいります。

お客様に安全・安心な製品を提供いたしますため、品質管理と安全対策を徹底いたしますとともに、「お客様の声」に応えた価値ある製品の開発に励んでまいります。また、さらなる原価低減と経費削減に努め、市場競争力の強化と企業価値の向上に取り組んでまいります。

経営面におきましては、変化の激しい経営環境に迅速・的確に対応いたしますため、執行役員制度を活用し、より一層の経営のスピードアップとコーポレート・ガバナンスの強化を進めてまいりますとともに、内部統制システムの充実などにも取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年11月



代表取締役社長

江戸龍太郎

食 料 品 事 業

売上高 586億66百万円 前年同期比 101.6%

● スパイス&ハーブ

主カブランドの「SPICE & HERB」シリーズをはじめとする洋風スパイスが、引き続き好調に推移いたしますとともに、フレッシュハーブ、シーズニングスパイス、業務用香辛料製品も売上に寄与し、売上高は前年同期比3億92百万円増の98億円となりました。



● 即席

即席市場は、市場縮小と価格低下という厳しい状況が続き、市場全体の活性化が求められております。そのなかで、高級カレー市場を牽引してまいりました「ディナーカレー」を、ダブルフォン・ド・ボーを使用したカレーとして発売し、また、リニューアルした「牧場しぼりシチュー」や新製品の「牛乳で作るチーズフォンデュ」により、家族の団らんホットメニューを提案するなど製品施策に努めましたが、売上高は前年同期比8億6百万円減の157億30百万円となりました。



● 香辛調味料

価値ある製品として引き続き高い評価をいただいております「本生」シリーズをはじめとするチューブ製品におきましては、「風味推薦」シリーズとたっぷりとお使いいただけるお徳用タイプを中心に堅調に推移いたしました。また、「ぶっかけ!おかずラー油チョイ辛」をはじめラー油製品全体が大きく伸長しましたことから、売上高は前年同期比19億57百万円増の155億17百万円となりました。



● インスタント食品その他

レトルトカレーにおきましては、「カレー曜日」が売上を拡大いたしますとともに、「チーズカレー」シリーズなどの新製品・リニューアル品も寄与いたしました。また、パスタソースでは、新製品の「生風味スパゲッティソースラー油高菜」がご好評をいただくなど順調に推移いたしました。無菌包装米飯が苦戦し、インスタント食品その他全体としての売上高は前年同期比6億18百万円減の176億17百万円にとどまりました。

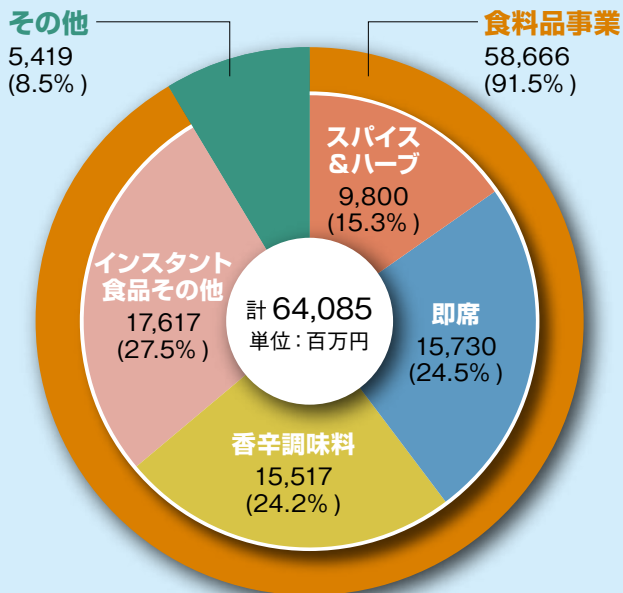


その他

売上高 54億19百万円
前年同期比 107.4%

夏場の記録的な猛暑の影響もあり、冷たい調理麺が好調に推移し、調理済食品が前年同期実績を上回りました。

連結売上高構成比



当期より、部門別業績の状況を「食料品事業」と「その他」に区分し、前期まで「その他加工食品部門他」に含まれていた加工米飯の製造・販売等を「食料品事業」のうち「インスタント食品その他」に、また調理済食品の製造・販売および飲食店の経営を「その他」として組替えを行っております。

「スパイス&ハーブ プロモーション」展開中

当社では、この春から夏にかけて、スパイス&ハーブの需要喚起・消費拡大を目指した「スパイス&ハーブ プロモーション ～いつものメニューが、大きく変わる～」を展開してきました。

スパイス&ハーブの使い方・メニュー提案については、期間を通じて重点訴求する製品を設定し、これらを徹底的に使いこなす幅広いメニューを提案してきました。また、6～7月にかけては、スパイス&ハーブにさらに興味を持っていただくための消費者キャンペーンを実施し、多数の応募をいただきました。こうした活動の成果もあって、上半期(4～9月)の当社スパイスの売上は好調に推移しました。

そして、現在は、秋冬期のプロモーションを展開中です。新たに重点訴求する製品を設定し、色々な料理でスパイス&ハーブを使いこなせるような提案を行うとともに、TVCMや当社ホームページなどを連動させて訴求することで、単発で終わらずに深くお客様に浸透するスパイス&ハーブの使い方提案を実現します。

スパイス&ハーブを通じて、日本の食卓をさらに盛り上げるよう、当社は継続的なプロモーションを進めていきます。



「ディナー」シリーズリニューアル

1973年に発売した「ディナーカレー」は、フランス料理のソースベースであるフォン・ド・ボーを使った深い味わいとコクが自慢の欧風高級カレーとして、高級即席カレー市場をけん引してきました。さらに、シチューやハヤシ、レトルトにも製品ラインナップの幅を広げて、高級即席市場や高級レトルト市場をリードしてきましたが、本年8月に、これら「ディナー」シリーズをリニューアルしました。



これまでの仔牛肉を主体としたフォン・ド・ボーに加え、丹念に焼き上げた仔牛の骨を主体としたフォン・ド・ボーを新たに使用し、「ダブルフォン・ド・ボー」として、ソースにより重厚なコクが加わり、伝統の美味しさに磨きをかけました。

(※クリームシチューは、クリームとの相性を考慮し、従来のフォン・ド・ボーのみを使用しています。)

当社では、これに合わせて、店頭、TVCM、雑誌広告、ホームページを連動させたプロモーションを実施しています。ホームページでは、「ディナーサイト」(<http://www.sbfoods.co.jp/dinner/index.html>)を開設して、製品情報はもとより、ディナーの歴史やフォン・ド・ボーの説明、さらに、有名店のシェフ10人による「ディナーカレー」を使ったオリジナルメニューを紹介しています。

各メディアが連動して訴求することで、「ディナーカレー」をはじめとするディナーブランドのさらなる浸透を図ります。



ホームページ全面リニューアル

当社は、この夏に、お客様の期待やニーズの多様化・変化にお応えして、ホームページを全面リニューアルしました。

リニューアルのポイント

1. サービスカ、とりわけスパイス&ハーブのページを充実
2. 安全・信頼・公正に基づく企業の姿を訴求
3. 「お届けサイト」、「携帯サイト」も連動してリニューアル

ここでは、リニューアルの具体的な内容として、スパイス&ハーブの情報充実を目指した「みんなのiレシピ」ページ(<http://www.sbfoods.co.jp/recipe/index.php>)を紹介します。

催事や旬に合わせたレシピ提案や、現在展開中の「スパイス&ハーブ プロモーション」と連動して、月ごとに設定したスパイスやハーブを使ったレシピを提案する<Pick Up! スパイス&ハーブ>コーナー、さらに、スパイス&ハーブの使い方や、基本的なレシピを動画で紹介する<動画で見よう!みんなのiレシピ>コーナーなどを展開して、スパイスやハーブを使った多彩なレシピを提案しています。また、検索機能については、スパイスやハーブのタイプ別で絞り込む機能も盛り込むなど、当社ならではの工夫をしています。

情報の充実のみならず、見やすさや使いやすさの向上も目指してリニューアルした当社ホームページを是非ご覧ください。



「社会・環境報告書2010」発行

当社グループは、お客様にお届けする製品の多くに、自然の恵みである世界各地のスパイスやハーブを原料として使用していることから、地球環境の保護や産地となる地域への貢献を、重要な責務と考えています。

生産部門においては、グループ内の主要工場でISO14001の認証を取得するなど、環境に配慮した生産体制を整備し、また、事務所部門では部門横断的な環境保全組織のもと、自律的に省エネなどの活動をすすめています。また、海外のスパイス原産地との取組みとしては、現地の自然環境を活かして栽培を行うなどの環境保全措置に加え、フェアトレードによる生産者への支援、農家に対するハーブの有機栽培技術指導などを行っています。

当社グループでは、こうした地球環境に優しく、そして地域や生産者の皆様にも貢献できる活動を着実にすすめており、2009年度における具体的な活動内容をわかりやすくご報告するツールとして、「社会・環境報告書2010」を発行しました。

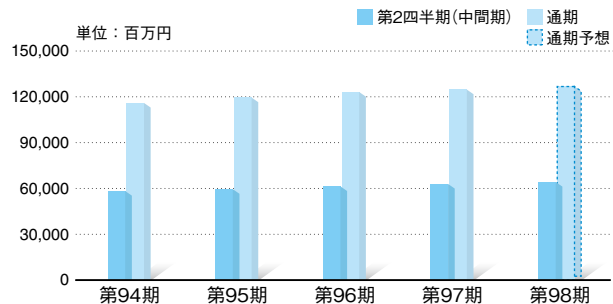
この報告書は、当社ホームページでご覧いただけます。

(URL : <http://www.sbfoods.co.jp/company/corp/eco/index.html>)

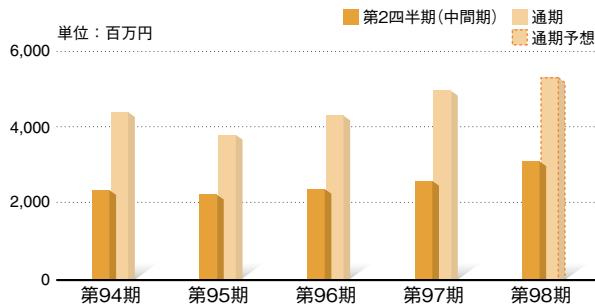


業績の推移 (連結)

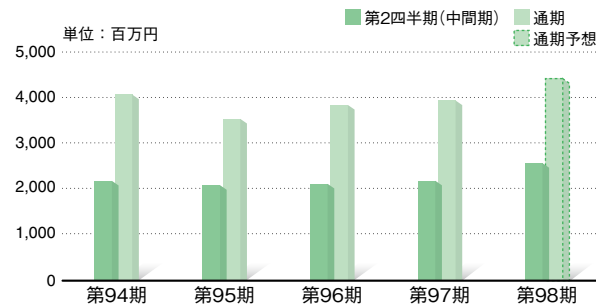
売上高



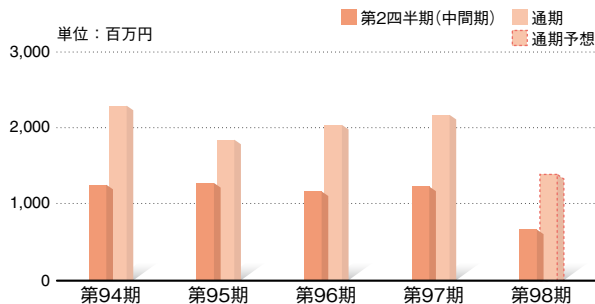
営業利益



経常利益



当期純利益



区 分	第94期	第95期	第96期	第97期	当第2四半期
	(平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	(平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
売 上 高 (百万円)	115,754	119,262	122,907	124,474	64,085
営 業 利 益 (百万円)	4,393	3,797	4,304	4,956	3,102
経 常 利 益 (百万円)	4,054	3,524	3,826	3,925	2,560
当 期 純 利 益 (百万円)	2,306	1,857	2,053	2,185	673
1 株 当 た り 当 期 純 利 益 (円)	66.20	53.32	59.01	62.78	19.36
純 資 産 (百万円)	24,077	23,564	23,833	25,820	26,541
総 資 産 (百万円)	96,059	94,511	95,985	95,290	98,318

財務諸表（連結）

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	当 第 2 四 半 期 連 結 会 計 期 間 末 (平成22年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日現在)	科 目	当 第 2 四 半 期 連 結 会 計 期 間 末 (平成22年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日現在)
[資産の部]			[負債の部]		
流動資産	57,784	53,958	流動負債	48,481	46,990
現金及び預金	14,598	14,297	支払手形及び買掛金	11,339	12,076
受取手形及び売掛金	26,209	23,239	短期借入金	25,105	22,693
商品及び製品	5,214	4,221	未払法人税等	482	1,431
仕掛品	1,377	1,368	賞与引当金	1,194	1,156
原材料及び貯蔵品	3,215	3,567	その他	10,360	9,632
その他	8,244	8,352	固定負債	23,295	22,479
貸倒引当金	△1,074	△1,088	長期借入金	13,556	13,626
固定資産	40,534	41,331	退職給付引当金	5,847	5,710
有形固定資産	28,141	28,143	債務保証損失引当金	242	254
建物及び構築物（純額）	10,978	11,175	負ののれん	40	42
機械装置及び運搬具（純額）	5,266	5,203	資産除去債務	107	—
土地	10,247	10,257	その他	3,501	2,846
その他（純額）	1,649	1,506	負債合計	71,777	69,470
無形固定資産	575	593	[純資産の部]		
のれん	27	29	株主資本	30,462	30,048
その他	548	563	資本金	1,744	1,744
投資その他の資産	11,816	12,594	資本剰余金	5,344	5,343
投資有価証券	4,258	5,038	利益剰余金	23,456	23,022
その他	8,371	8,361	自己株式	△82	△62
貸倒引当金	△814	△805	評価・換算差額等	△3,920	△4,228
資産合計	98,318	95,290	その他有価証券評価差額金	152	△173
			土地再評価差額金	△4,027	△4,022
			為替換算調整勘定	△46	△32
			純資産合計	26,541	25,820
			負債純資産合計	98,318	95,290

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	当 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
売上高	62,786	64,085
売上原価	35,355	35,872
売上総利益	27,430	28,212
販売費及び一般管理費	24,841	25,110
販売促進費	14,269	14,575
その他	10,571	10,534
営業利益	2,588	3,102
営業外収益	184	206
受取利息	42	39
受取配当金	50	59
その他	92	106
営業外費用	597	748
支払利息	346	339
貸倒引当金繰入額	216	369
その他	34	39
経常利益	2,176	2,560
特別利益	55	18
受取補償金	17	—
補助金収入	38	—
貸倒引当金戻入額	—	4
債務保証損失引当金戻入額	—	12
その他	—	1
特別損失	124	1,453
固定資産除却損	39	—
減損損失	62	—
投資有価証券評価損	—	1,336
その他	22	117
税金等調整前四半期純利益	2,107	1,124
法人税、住民税及び事業税	796	462
法人税等調整額	70	△11
法人税等合計	866	450
四半期純利益	1,240	673

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	当 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,853	△553
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,359	△1,196
財務活動による キャッシュ・フロー	△806	2,071
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△12	△16
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△1,325	304
現金及び現金同等物の 期首残高	15,341	14,203
現金及び現金同等物の 四半期末残高	14,016	14,508

※財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社情報

会社概要 (平成22年9月30日現在)

- 商号 エスピー食品株式会社
- 本社所在地 東京都中央区日本橋兜町18番6号
- 設立年月日 昭和15年4月5日(創業大正12年)
- 資本金 1,744百万円
- 従業員数 1,228名
- 主要な事業内容 スパイス&ハーブ(カレー粉、コショウ、洋風スパイスなど)、即席(ゴールデンカレー、ディナーカレー、とろけるカレー、とろけるシチューなど)、香辛調味料(本生本わさび、おろし生しょうが、ねりからしなど)、インスタント食品その他(おでんの素、レトルトカレー、パスタソース、無菌包装米飯など)の製造販売

株式の状況 (平成22年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 88,000,000株
- 発行済株式の総数 34,885,585株
- 単元株式数 500株
- 株主数 4,531名
- 大株主

株主名	持株数	出資比率
峯栄興業株式会社	3,045 ^{千株}	8.73%
山崎兄弟会	3,000	8.60
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,720	4.93
農林中央金庫	1,720	4.93
株式会社東京都民銀行	1,222	3.50
日本生命保険相互会社	904	2.59
セコム損害保険株式会社	881	2.53
大日本印刷株式会社	861	2.47
第一生命保険株式会社	622	1.78
株式会社三井住友銀行	611	1.75

役員 (平成22年10月1日現在)

- | | | | |
|-----------|--------|---------|-------|
| 代表取締役 | 山崎 勝 | 監査役(常勤) | 中山 俊明 |
| 代表取締役社長 | 江戸 龍太郎 | 監査役(常勤) | 小池 宗夫 |
| 専務取締役 | 荻原 敏明 | 監査役 | 松延 洋平 |
| 専務取締役 | 山崎 雅也 | 監査役 | 谷 修 |
| 専務取締役 | 山崎 明裕 | | |
| 取締役常務執行役員 | 佐藤 哲也 | 執行役員 | 中野 史夫 |
| 取締役常務執行役員 | 前澤 孝一 | 執行役員 | 宮寺 良則 |
| 取締役常務執行役員 | 黒田 恒夫 | 執行役員 | 小形 博行 |
| | | 執行役員 | 熊谷 裕孝 |
| | | 執行役員 | 丹野 好生 |
| | | 執行役員 | 齋藤 眞理 |

主な事業所 (平成22年10月1日現在)

名称	所在地	名称	所在地
本社	東京都	静岡BU	静岡県
八丁堀ハーブテラス	東京都	中部BU	愛知県
板橋スパイスセンター	東京都	北陸BU	石川県
北海道BU	北海道	関西BU	大阪府
北東北BU	岩手県	四国BU	香川県
南東北BU	宮城県	中国BU	広島県
首都圏北部BU	埼玉県	九州北BU	福岡県
首都圏東部BU	千葉県	九州南BU	鹿児島県
首都圏中央BU	東京都	沖縄BU	沖縄県
首都圏西部BU	東京都	上田工場	長野県
首都圏神奈川BU	神奈川県	東松山工場	埼玉県
新潟BU	新潟県	宮城工場	宮城県
長野BU	長野県		

(注)上記表中「BU」はビジネスユニットを省略記載したものです。



各種お手続きその他のご案内

① 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社にお申出ください。

② 未払配当金のお支払い

証券会社の口座の有無にかかわらず、株主名簿管理人である日本証券代行株式会社にお申出ください。

③ 株主様のご住所・お名前に使用する文字に関するご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、「株式会社証券保管振替機構(ほふり)」が振替制度で指定していない漢字等が含まれる場合は、その全部または一部を「ほふり」が指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様に送付いたします通知物の宛先が、「ほふり」が指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	日本証券代行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒137-8650 東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部
(電話照会先)	☎0120-707-843
(ホームページアドレス)	http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html
公告方法	電子公告により行います。(URL: http://www.sbfoods.co.jp/) なお、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主優待制度	有

